

新興開発地に新たな地域の原風景を創り出すパブリックアート

大阪府南部に位置する和泉市は国府がおかれた歴史的な土地。しかし 1990 年代より大阪市のベッドタウンとして東部に新興住宅、新交通路線なども開発されて始めた。和泉シティプラザはこの新興住宅地に生活・文化の拠点として建設された図書館、ホール、生涯学習センター、市役所出張所などを含む複合施設。

新たな開発ということで、新旧住民の対話、市の伝統地区との関係を結ぶ媒体としてのアートワークが重視された。そこで、アーティストが現地を訪れ、土地の歴史や特徴を視覚化する作品を依頼、国際的に活躍するアーティストや地元の詩人による作品など、建築と一体となったアート作品が設置されている。

【コンセプト】

「和泉：記憶と時間に出会う新たな風景」地域の人々が過去や将来を通じて過ごす時間や記憶を自然の要素に重ね、地域独自の風景を表現すること。

建築の基本設計から設計者、ランドスケープ・デザイナーとの調整を重ね、アーティストの選定、作品計画、制作、設置、ワークショップなどすべての段階に関わった。このために単にオブジェを置くという従来のパブリックアートではない、イスや手すり、階段、壁、庭、ベンチなど、建築の機能と一体となった作品が可能となっている。また、それぞれのアーティストが住民とのワークショップを展開し、新旧住民をつなぐ役割を果たしている。建築系、アート系の受賞多数。

【ワークショップ】

アーティストは地域のお年寄りや子供たちとのワークショップを通じた作品制作を積極的におこない、そのプロセスは地域の大学生、市民ボランティアによってサポートされた。また、地元の詩人が創作した詩がセンター内各所にちりばめられ、また地域の伝統と現代の要素を取材した絵画作品が陶板として各所に配置されている。

【作品例】

- 1.有安政敏：「和泉の詩」 地元の詩人の地域をうたった詩がベンチ、壁面、手摺り、階段などにちりばめられた。
- 2.土屋公雄：「時の知層」 和泉各所の土や子供たちとのワークショップで創られた粘土作品、リサイクルチップ素材などを場所の 地層として表現した。

3.宮島達男：「タイム・ガーデン」 地域のお年寄りとのワークショップ を通じた LED を使った、中庭のための作品。

4.アントニー・ゴームリー：「こちらとあちら」 隣接した水道水貯水タンクを取り込んで風景の一部とした作品。

5.吉田重信：「虹龍」 ステンレスの壁面に水路の水を通した光が虹 を創り出す作品。常に変化する自然を映し出す。

6.山口晃：「和泉市名所圖畫」 市内の各所に取材し、その伝統と現代の要素を融合した地域性豊かな絵画作品。